

春が近づいているとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。しかし、運動場では、子どもたちが大なわとびやドッジボール、おにごっこなどをして元気に体を動かしています。2月19日には、新入生となる子どもたちが、1年生と一緒に工作をしたり、学校を探検したりしました。そして、3月19日は第3期生の卒業式です。3～5年生の在校生が参加し、あとを引き継ぎます。保護者の皆様には、この1年間ご理解ご協力いただき、感謝しております。

あいさつする子  
しっかり学ぶ子  
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます

## 人との出会いが心をたがやす

### なかよし学習発表会

1/31

貝塚市内の支援学級のお友だちが本校に集まり、行われたなかよし学習発表会に1～6年生も3部に分かれて参加しました。見せていただいた学校に、それぞれの学級が感想やお礼の言葉を送りました。一部紹介します。



- げきは、とても手作り感があってよかったです。もう一度、見てみたいですね。パズルはきれいにそろってすごいと思いました。いろいろなものができたので、楽しかったです。
- 大きな音で、すごく迫力がありました。大きい太こ、小さい太こがそろっていて、心にひびきました。全員がっていて、すごくじょうずでした。
- お城の中からプリンスやプリンセスがでてきて、一人ひとりちがう演技でよかったです。失敗してもあきらめないところがよかったです。一生懸命練習しているのが、すごく感動したし、練習が大事ということが分かりました。

## あなたの輝く未来のために、今、学ぶ

2/26

京都大学(iPS研究)の齊藤博英准教授が科学者として生きることのおもしろさやiPS細胞のこと、勉強がわかる秘訣などを5・6年生にもわかるように話してくださいました。

「とことん悩み、考え、進んで、熱く生きてほしい」というメッセージをいただきました。



○齊藤先生の話聞いて2つのことに、感動しました。1つは成功、そして2つ目は苦勞です。1つ目の成功は、みんなの力があわさって、ノーベル賞をとった研究に成功したことです。すごいと改めて思いました。2つ目の苦勞は、なかなかヒットをうてなくて失敗をしていることです。チャレンジすることは、かべを乗り越えることと同じような気がします。人生は成功・失敗・苦勞といういろいろあるけど、ぼくは乗り越えていきたいです。

○私にも将来の夢があります。勉強はあまり好きじゃないけど、勉強をすると将来に役立つとわかりました。私も、興味があることをあきらめずチャレンジしてみたいと思いました。

○確かな学力の向上に努めます

## 大切にしたい、メタ認知力と学び合い

2/20

3年間の校内研究のまとめを貝塚市教育振興会研究発表大会で報告しました。「誰にでもわかりやすい授業づくり」をめざして算数科で取り組んできた下記の3点を発表しました。

- ①メタ認知力(自分自身を客観的に見て「何が分かっている、何が分からないのか」を自覚する力)の育成
- ②かがやきノート(本校独自の算数ノート)の活用
- ③学び合い(分からないことを、友だち同士で互いに学び合う活動)の活性化

今後、引き続き取り組みを進め、子どもたちの自ら学ぶ力をさらに伸ばしたいと考えています。



○安全な学校生活を推進します

## 東山子ども安全見守り隊の活動報告会

2/5

子ども安全見守り隊に登録いただいている皆様にお集まりいただき、活動の交流を行いました。

東山いきいきクラブの方が、「通学する子どもたち全員が自分のひ孫と思えて、毎日活動しています」と言ってくださったり、「第〇曜日は安全の日などとして、みんなで活動するのも効果的ではないか」というご意見をいただいたりしました。皆様には、本当に感謝しております。



○豊かな心を育みます

健やかな体を育みます

2/20～28

## 大なわ大会をしたよ

第三中学校区の4つの小中学校が、共通のルールで大なわ大会を行っています。

各学級で10数人のグループに分かれて8の字とびをします。1分間に何回とべるか記録をとり、最高回数を4校で報告しあいます。校内では、児童委員会が中心となって学年ごとに記録を競いました。



6年生が100回とびました

○Cチームが30回とんだのは、びっくりしました。れんしゅうをやっていた人が多かったです。そして、ぼくは、本気でかつ思いでやったんだけど、27回でした。みんながんばったけど、クラスで2位でした。みんな、がんばっていた。(低学年)

## 一人ひとりを大切にしたい学校づくりをめざして

子どもたちの学校関係者アンケート

の下記の項目の結果を、グラフにしました。②の教員が一人一人を大切に、いじめのないクラスをつくらうとしていることを、ほとんどの子どもたちが認めてくれて大変うれしいです。しかし、③の項目をみると、12.4%の子どもたちが、教員に直接相談しにくい状況があります。そこで、保護者の皆様にはお願いがあります。お子様のことので気になること(いじめ・不登校・体罰等)がありましたら、相談窓口(管理職・養護教諭・担任等)を設けていますのでご相談ください。

そう思う

どちらかといえばそう思う

肯定的評価＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」

①学校で友だちと会うのは楽しい。 96.8%



②先生は一人一人を大切に、いじめのないクラスになるようにがんばっている。 99.1%



③心配なことを相談できる先生がいる。 87.6%

